



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 タクマ

コード番号 6013 URL <http://www.takuma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 手島 肇

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 泉 雅彦

TEL 06-6483-2610

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	40,917	21.7	140	—	581	—	△1,332	—
23年3月期第2四半期	33,613	△19.7	△571	—	△96	—	△3,711	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,371百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △4,790百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△16.12	—
23年3月期第2四半期	△44.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	93,288	21,999	23.3
23年3月期	100,848	23,901	23.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 21,780百万円 23年3月期 23,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	12.2	5,000	40.3	5,800	31.9	3,000	64.7	36.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の5ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	87,799,248 株	23年3月期	87,799,248 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	5,116,890 株	23年3月期	5,116,300 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	82,682,643 株	23年3月期2Q	82,691,273 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	12
(6) セグメント情報	12
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により甚大な影響もたらされた景気に回復の基調も見られてはおりますが、電力需給の逼迫、雇用情勢の低迷、原油価格の高騰のほか、為替相場での円高など依然として厳しい状況にあります。

このような経済情勢の下で、再生可能エネルギーにも注目が集まり、当社の中核事業である廃棄物処理プラント、国内外のバイオマス発電プラントなどの需要が見込まれるものの、まだこれらが大きく受注に結びつくという状況にはなく、当第2四半期連結累計期間の受注高は41,332百万円となり、大型のごみ処理施設建設工事を相次いで受注した前年同期に比べ27,175百万円(△39.7%)の減少となりました。受注していた大型のごみ処理施設建設工事が順調に進ちよくしていることなどにより、売上高については40,917百万円と前年同期に比べ7,303百万円(+21.7%)の増加となりました。また、受注残高については89,227百万円となりました。

損益面においては、当第2四半期連結累計期間の営業利益は140百万円、経常利益は581百万円と売上高が増加したこともあり前年同期の損失から大きく改善しております。また、前年同期に比べ改善したものの、訴訟損失引当金繰入額として1,712百万円を計上したことなどから、1,332百万円の四半期純損失となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の事業形態として、上半期に比較して下半期が多くなる傾向にあります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	売上高	営業損益	受注残高
環境・エネルギー（国内）事業	26,662	30,053	1,315	75,719
環境・エネルギー（海外）事業	3,067	1,582	118	4,642
民生熱エネルギー事業	9,050	7,428	△389	4,997
設備・システム事業	2,834	2,452	△144	4,094
計	41,615	41,517	900	89,454
調整額	△283	△600	△759	△226
合計	41,332	40,917	140	89,227

[環境・エネルギー（国内）事業]

受注高は26,662百万円と大型のごみ処理施設建設工事を相次いで受注した前年同期に比べ30,451百万円(△53.3%)の減少となりましたが、受注していた大型のごみ処理施設建設工事が順調に進ちよくしていることなどにより、売上高については30,053百万円と前年同期に比べ6,853百万円(+29.5%)の大幅な増加となりました。営業損益面でも、1,315百万円と前年同期に比べ528百万円(+67.1%)の大幅な増益となりました。

[環境・エネルギー（海外）事業]

東南アジアでのバイオマス発電ボイラの受注などにより、受注高は3,067百万円と前年同期に比べ2,499百万円（+439.5%）の増加となりました。また売上高についても1,582百万円と前年同期に比べ362百万円（+29.7%）の増加となりました。営業損益面でも、前年同期の損失から改善し、118百万円の利益となりました。

[民生熱エネルギー事業]

主力製品の貫流ボイラ、温水ヒーター等における市場占有率の向上、これらの保守契約等の更新需要確保に努めており、受注高は9,050百万円と前年同期に比べ655百万円（+7.8%）の増加となりましたが、売上高は7,428百万円と前年同期に比べ20百万円（△0.3%）の減少となりました。営業損益面では、389百万円の損失となりました。

[設備・システム事業]

半導体産業用設備等の需要は引続き回復してきており、受注高は2,834百万円と前年同期に比べ54百万円（+2.0%）の増加となりました。また、売上高は2,452百万円と前年同期に比べ256百万円（+11.7%）の増加となりましたが、営業損益面では、144百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は93,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,559百万円（△7.5%）の減少となりました。主な要因は、売上債権の回収が仕入債務の決済を大きく上回ったこと等により、現金及び預金が10,554百万円の増加となった一方で、受取手形及び売掛金が18,928百万円の減少となったことによるものであります。

負債は71,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,657百万円（△7.4%）の減少となりました。主な要因は、訴訟損失引当金が1,712百万円、前受金が1,518百万円増加となった一方で、返済により借入金4,360百万円の減少となったほか、支払手形及び買掛金が決済により4,287百万円減少したことによるものであります。

純資産は21,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,901百万円（△8.0%）の減少となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.5%から23.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10,534百万円増加し、四半期末残高は26,043百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は14,513百万円（前年同期は10,724百万円の資金の増加）となりました。これは主に、仕入債務の減少によって4,422百万円、たな卸資産の増加によって2,014百万円減少した一方で、売上債権の減少によって20,521百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は390百万円（前年同期は557百万円の資金の減少）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得によって152百万円減少した一方で、投資有価証券の売却によって292百万円、その他の投資の減少によって287百万円増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は4,393百万円（前年同期は1,014百万円の資金の増加）となりました。これは主に、短期借入金の返済によって2,770百万円減少したほか、長期借入れによって150百万円増加したものの、長期借入金の返済によって1,740百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成23年10月26日に公表いたしました業績予想から現時点で変更はありません。

国内においては、一般廃棄物処理プラント事業ではごみ処理施設の新設、更新需要が、エネルギープラント事業においても化石燃料に比した経済的優位性や環境負荷低減効果から、燃料転換をはかれるボイラプラントや再生可能エネルギーとしてのバイオマス発電プラントなどの需要が引き続き見込まれており、これらの受注に努めてまいります。また、海外においてもバイオマス発電ボイラを相次いで受注しており、今後とも増加してきている需要の獲得に努めてまいります。

このような事業環境の中、当社グループは、一般廃棄物処理プラント事業を中心とする国内環境・エネルギー事業に経営資源を集中し、グループ全体でリスク管理及びコスト管理を徹底することにより、一層の競争力強化に向けて取り組んでおります。また、欧州での事業拠点である子会社については、欧州危機もあり受注が低迷していることから、事業の縮小、再編をはかっていくこととしております。

これらの経営施策により、当社グループの平成24年3月期通期の連結業績につきましては、売上高は100,000百万円と前連結会計年度に比べ10,859百万円(+12.2%)の増加、営業利益は5,000百万円と前連結会計年度に比べ1,437百万円(+40.3%)の増加、経常利益は5,800百万円と前連結会計年度に比べ1,403百万円(+31.9%)の増加となり、特別損失の計上があるものの当期純利益は3,000百万円と前連結会計年度に比べ1,178百万円(+64.7%)の増加となる見通しであり、第9次中期経営計画として目指しておりました、最終年度での5,000百万円以上の経常利益を達成する見込みです。

また、平成24年3月期の配当予想につきましては、未定としておりましたが、期末での復配（1株当たり2円）をさせていただく予定としております。

なお、当社グループの事業では、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけての進捗よく、引渡しによって売上高が多くなる傾向にあり、当期の業績においても第4四半期の売上高は他の四半期に比べ大幅に増加すると見込んでおります。

・上記の業績見通しには、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。したがって、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,271	26,826
受取手形及び売掛金	43,534	24,606
有価証券	3	69
たな卸資産	4,609	6,618
その他	5,243	5,428
貸倒引当金	△33	△27
流動資産合計	69,629	63,520
固定資産		
有形固定資産	12,838	12,537
無形固定資産		
のれん	2,159	1,675
その他	322	301
無形固定資産合計	2,481	1,977
投資その他の資産		
投資有価証券	10,902	10,609
その他	5,758	5,395
貸倒引当金	△762	△752
投資その他の資産合計	15,898	15,252
固定資産合計	31,219	29,767
資産合計	100,848	93,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,508	24,220
短期借入金	16,817	14,047
未払法人税等	206	140
賞与引当金	1,505	1,624
製品保証引当金	368	348
工事損失引当金	73	56
訴訟損失引当金	—	1,712
その他	5,269	6,755
流動負債合計	52,749	48,906
固定負債		
長期借入金	14,294	12,703
退職給付引当金	6,478	6,747
役員退職慰労引当金	251	203
負ののれん	2,510	2,104
その他	662	623
固定負債合計	24,197	22,382
負債合計	76,946	71,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,844	3,844
利益剰余金	9,869	8,013
自己株式	△3,605	△3,606
株主資本合計	23,475	21,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	690
繰延ヘッジ損益	4	△1
為替換算調整勘定	△555	△526
その他の包括利益累計額合計	193	161
少数株主持分	231	218
純資産合計	23,901	21,999
負債純資産合計	100,848	93,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	33,613	40,917
売上原価	26,777	33,552
売上総利益	6,835	7,364
販売費及び一般管理費	7,407	7,224
営業利益又は営業損失(△)	△571	140
営業外収益		
受取利息	41	44
受取配当金	123	143
持分法による投資利益	204	262
負ののれん償却額	406	406
その他	157	85
営業外収益合計	933	942
営業外費用		
支払利息	229	296
為替差損	144	5
その他	84	200
営業外費用合計	458	502
経常利益又は経常損失(△)	△96	581
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51
貸倒引当金戻入額	11	—
ゴルフ会員権売却益	7	—
特別利益合計	18	51
特別損失		
固定資産処分損	11	—
訴訟損失引当金繰入額	3,393	1,712
減損損失	—	236
その他	19	—
特別損失合計	3,424	1,948
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,502	△1,315
法人税等	206	6
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,709	△1,322
少数株主利益	1	10
四半期純損失(△)	△3,711	△1,332

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,709	△1,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△878	△54
繰延ヘッジ損益	3	△7
為替換算調整勘定	△206	12
その他の包括利益合計	△1,080	△49
四半期包括利益	△4,790	△1,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,781	△1,364
少数株主に係る四半期包括利益	△9	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,502	△1,315
減価償却費	517	451
減損損失	—	236
のれん償却額	266	267
負ののれん償却額	△406	△406
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△51
固定資産売却損益(△は益)	1	—
固定資産処分損益(△は益)	9	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△40	△16
賞与引当金の増減額(△は減少)	99	119
工事損失引当金の増減額(△は減少)	77	△18
退職負債の増減額(△は減少)	152	219
受取利息及び受取配当金	△164	△188
支払利息	229	296
持分法による投資損益(△は益)	△204	△262
訴訟損失引当金繰入額	3,393	1,712
売上債権の増減額(△は増加)	24,389	20,521
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,637	△2,014
未収消費税等の増減額(△は増加)	△113	△277
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△534	△316
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,956	△4,422
未払消費税等の増減額(△は減少)	△943	△19
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,525	5
その他	149	40
小計	12,255	14,559
利息及び配当金の受取額	245	288
利息の支払額	△225	△311
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9	△22
訴訟和解金の支払額	△1,542	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,724	14,513

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	23	△53
有形固定資産の取得による支出	△89	△129
有形固定資産の売却による収入	7	—
無形固定資産の取得による支出	△22	△23
投資有価証券の取得による支出	△56	△0
投資有価証券の売却による収入	0	292
貸付けによる支出	△579	△122
貸付金の回収による収入	125	147
その他の投資の増加による支出	△81	△16
その他の投資の減少による収入	116	287
その他	—	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△557	390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	692	△2,770
長期借入れによる収入	1,500	150
長期借入金の返済による支出	△1,140	△1,740
自己株式の取得による支出	△1	△0
少数株主への配当金の支払額	△24	△6
その他	△11	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,014	△4,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△316	23
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,865	10,534
現金及び現金同等物の期首残高	11,467	15,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,332	26,043

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

持分法適用関連会社の変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した(株)市原ニューエナジーを持分法の適用の範囲に含め、保有する全株式を譲渡した(株)ミダックふじの宮を持分法の適用範囲から除外しております。

(6) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,891	1,220	7,371	2,129	33,613	—	33,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	307	—	77	66	451	△451	—
計	23,199	1,220	7,449	2,195	34,064	△451	33,613
セグメント利益又は損失(△)	787	△157	△347	△148	133	△704	△571

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△704百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△823百万円及びその他の調整額118百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,824	1,582	7,399	2,109	40,917	—	40,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	28	342	600	△600	—
計	30,053	1,582	7,428	2,452	41,517	△600	40,917
セグメント利益又は損失(△)	1,315	118	△389	△144	900	△759	140

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△759百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△877百万円及びその他の調整額117百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。